

## ガンマ線バースト観測衛星 HETE-2 打ち上げについて

理化学研究所（理事長：小林俊一）で開発した観測装置を積んだ HETE-2 (High Energy Transient Explorer：高エネルギートランジェント天体探査衛星・第2号機) は、マーシャル諸島共和国洋上より日本時間 2000年10月9日午後2時38分(現地時間：同日午後5時38分)、ペガサスロケットによって打ち上げられました。今後、約1カ月半かけて衛星の搭載機器などをチェックします。

### 打ち上げについて

HETE-2の打ち上げはNASAにより行われました。HETE-2は、マーシャル諸島共和国クウェジェリン島を飛び立った飛行機(ロッキードL1011)で所定の位置まで運ばれ、ペガサスロケットにより軌道に投入されました。打ち上げのおよそ12分後には、ペガサスロケットから切り離されました。

### 今後の予定

衛星は軌道投入後、およそ1ヶ月半程度の基本機能試験を経て、本格的な定常観測運転に入ります。主なスケジュール(予定)は下記のとおりです。観測運用期間は太陽活動の強弱に左右されますが、約4年が見込まれています。

2010/9/17	初期姿勢獲得、電源・通信機能確認
10/18-21	観測機器健康試験
10/22-11/02	姿勢制御系機能試験
11/03-11/09	観測機器起動、本格的動作試験、データ伝送試験
11/10-11/16	観測方位較正、バースト情報伝播試験、かに星雲による較正観測
11/17-	定常観測

(本件に関する問い合わせ先)

独立行政法人理化学研究所 広報室

担当：仁尾

Tel：048-467-9272

※HETE-2 ミッションに関するさらなる情報は、

ガンマ線バースト観測衛星 HETE-2 打ち上げについて

(<http://science.ksc.nasa.gov/payload/missions/hete-2/>)

(<http://space.mit.edu/HETE>)

をご覧ください。

以上